

与野本町小学校解体工事説明会議事録

平成30年3月23日

18:00～19:00

与野本町小学校体育館

質疑応答

発言者A

資料14-2ページの出典について

回答

「建築物改修解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉塵飛散防止処理技術指針」です。

発言者A

他の自治体（東京都や大阪市）などは各自治体において上記のような指針を策定しておりますが、さいたま市はそのような指針などはありますか。

回答

さいたま市での指針はありませんので、国の指針に基づき飛散防止処理を行う考えであります。

発言者A

粉塵濃度測定はどこで行うのか。

回答

敷地境界部分で測定しますが、測定する箇所数については発注者と受注者にて協議を行い決定します。

発言者A

除去したアスベストの保管庫の場所について

回答

除去するアスベストの量を勘案し、今後、学校側と協議して保管場所を決定します。なお、アスベストの保管庫は施錠できる場所とします。

発言者B

複合施設整備について関心を持っている。（喜んでいる）工事の際に騒音振動などで近隣に被害があるかどうか、事前に調査を実施するのか。また、解体工事の際には児童への影響が極力少なくなるよう工事を実施してください。

工事車両の搬入時間について、スクールゾーンになっているので、時間をずらして搬入し

てもらえないか。与野本町小、西中、与野高校、多くの生徒が通行しますので配慮していただけないか。

回答

近隣家屋への影響については、家屋事前調査というかたちで既に調査させていただいております。工事につきましては細心の注意を払って実施させていただきますが、万が一被害を与えてしまった際には、工事完了後に実施する家屋事後調査にて被害の確認をした後に被害が確認されれば補償していくというのが通常の市の進め方となっております。

工事車両の搬入時間については、学校側と協議しておりますので、スクールゾーンの時間帯を配慮し、安全に実施していきたいと考えております。

発言者C

9ページ仮設計書の記載で、仮囲い3メートルと1.8メートルの2種類あるが、なぜ2種類にしているのか。

解体中の粉塵の飛散について伺いたい。

10ページ解体方法について、油圧圧砕工法（かみ砕く）は振動を伴わないのか。できるだけ近隣に騒音振動を伴わない方法で工事を実施してほしい。

回答

仮囲いについては、解体建物の南側、仮設校舎に面するところを3メートルとして、解体建物の北側は外部足場を掛けますので1.8メートルとしております。外部足場については、建物を覆うように掛けて、その足場に防音パネルを設置します。

解体の工法ですが、振動騒音を低減できる工法として、現在主流となっているコンクリートを油圧圧砕機でかみ砕いて解体する工法を採用しております。

騒音につきましては、まったく出ないわけではございませんが、低減できる工法であります。振動につきましては、重機が動く際には若干の振動は伴います。

発言者D

仮囲いについて、3メートルと1.8メートルとあるが、仮設校舎側が3メートルで解体建物の北側が1.8メートルとなっているが、なぜ同じものではないのか。

回答

解体建物の北側は足場と防音パネルを掛けますので1.8メートルの仮囲いとしております。

発言者D

校舎の南側には足場は掛けないのですか。

回答

解体工事は南側から重機で壊しますので、南側は足場を掛ける部分と掛けない部分があります。

発言者D

私の家は北側なので、1.8メートルのフェンスより3メートルの仮囲いの方がいい。

回答

北側道路と学校敷地に高低差があり、学校敷地の方が高くなっておりますので、1.8メートルのフェンスとしております。

発言者D

工事現場から一番近いところに住んでいるので、騒音粉塵の抑制に努めて工事を実施してください。

回答

わかりました。現場代理人が工事現場内に常駐しておりますので、何かありましたらご意見等いただければと思います。

発言者E

アスベストについては具体的にどの建物から出たのか。

回答

資料2に記載のとおり、北校舎のバルコニー上裏、内壁、天井、渡り廊下の外壁と内壁、給食室の外壁と内壁と天井に含まれておりましたので、解体前に除去工事を実施し、解体工事に入ります。

発言者A

工事作業員の方の喫煙場所について

回答

学校敷地内禁煙となっておりますので、禁煙とさせていただきます。

発言者A

敷地の周りで喫煙する方が出るのではないかと。

回答

学校の周りでの喫煙についても工事関係者であれば学校敷地内と同様に考えて指導してまいります。

発言者F

強風の際の作業について

回答

工事の中止に関する基準がありますので、大雨、大雪、強風の際にはそちらの基準に基づき作業中止とします。また、台風などの際は安全対策の作業を実施する場合があります。

発言者 F

連絡先について

回答

資料に記載の連絡先に連絡をいただいても結構ですし、工事現場に常駐しておりますので、直接伝えていただいても結構です。

終了